

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第4号	
事故等種類	乗揚（昆布養殖筏）	
発生日時	平成22年1月11日（祝） 16時50分ごろ	
発生場所	神奈川県横須賀市横須賀港第五区 横須賀港走水物揚場防波堤灯台から真方位297° 900m付近 (概位 北緯35° 16.1′ 東経139° 43.5′)	
事故等調査の経過	平成22年1月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート ^{エモジョイ} EMOJOY、11トン	
船舶番号、船舶所有者等	235-46024東京、株式会社ジョイ	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	本船 プロペラシャフト損傷 昆布養殖筏損傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗船し、横須賀市破埼北方沖約500mを約18ノットの速力で西進中、船長が約30m前方に橙色浮標を視認して機関を中立としたが、平成22年1月11日16時50分ごろ、昆布養殖筏に乗り揚げて航行不能となった。</p> <p>本船は、本事故を目撃していた漁船から通報を受けた昆布養殖筏所有者が本船に絡んだロープを切断後、同所有者が操船する漁船にえい航されて横須賀港走水に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2、視程 約500m以上</p> <p>海象：海面 穏やか、潮汐 下げ潮中央期</p> <p>なお、本事故発生当日の日没時刻は、16時48分ごろであった。</p>	
その他の事項	<p>船長は、マリーナに向けて帰航中、フライングブリッジで度付きのサングラスをかけて操船していた。</p> <p>昆布養殖筏には、存在を示す橙色浮標が設置されていた。</p> <p>船長は、自分より操船経験が豊富な同乗者2人から、助言が得られるだろうと期待していたので、海図等で養殖施設の設置場所等を確認していなかった。また、同乗者に助言を求めたが、確実な情報は得られなかった。</p> <p>船長は、12時ごろに昼食でビールをジョッキ1杯及びコップ2～3杯程度飲んでいた。</p> <p>フライングブリッジの風防部には、防寒のために透明のビニールシートが前後左右に取り付けられていたが、シート面が屈曲していた。</p> <p>船長は、レンズに色がついていない眼鏡が破損していたので、日没後も度付きのサングラスをかけ続けていた。</p> <p>船長は、操縦免許を取得して後、初めての操船だった。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	あり

	<p>気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>本船は、破埼北方沖を西進中、船長が、海図等で養殖施設の設置場所等を確認していなかったものと考えられる。</p> <p>船長は、日没直後の薄明時、見通しが劣る透明のビニールシートが取り付けられたフライングブリッジの風防部から、度付きサングラスを使用し見張りを行うなど、適切な見張りを行っていなかったため、昆布養殖筏を示す橙色浮標に気付くのが遅れたものと考えられる。</p> <p>船長は、同乗者に見張りを依頼するなどしておれば、本事故を防止できた可能性があると考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、日没直後の薄明時、本船が、破埼北方沖を西進中、船長が適切な見張りを行っていなかったため、昆布養殖筏に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	